

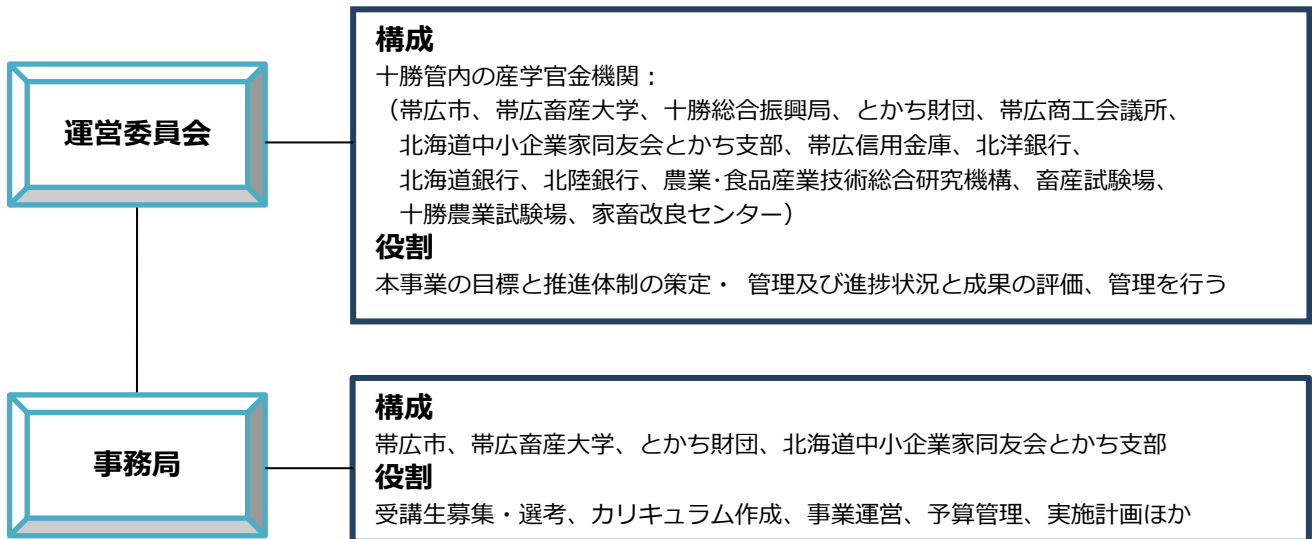
令和7年度フードバレーとかち人材育成事業 事業報告書（概要版）

1. 事業経緯

本事業は、平成19年度～23年度に実施した「地域再生人材創出拠点の形成『十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成』」の実績を引き継ぎ、平成24年度より、帯広市・帯広畜産大学の共同事業として実施している。その目的は、チャレンジ精神等を持って、企業経営、異業種参入、起業化等の地域の経済発展に寄与する「リーダーシップ」を発揮する人材を育成することであり、十勝管内の産学官金の各機関によって組織された運営委員会が事業を運営している。

令和7年度は、ドローン活用コース、食品安全管理コース、農業生産者コースの3つのコースと特別講習を実施した。一部の講習会は、帯広畜産大学の社会人人材育成事業である「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」の併用科目として実施した。

①事業運営体制



②研修コースの概要

コース	概要
食品安全管理コース	食品衛生管理に関する知識及び実技を習得することを目的として、「食品有害微生物講習(初級)」を実施
農業生産者コース	農業者、支援団体、農業関連企業のニーズに合わせて開講 GAP（農業生産の工程管理）に関するセミナーを実施
ドローン活用コース	近年ニーズが増加しているドローン分野において、農畜産業で活用できるドローンの知識や技術の習得を目指した「農業ドローン活用セミナー」を実施
特別講習	食・農畜産業に関する最新の話題や技術を紹介するとともに、本事業における取り組みや成果等を周知することを目的として、広く一般市民を対象としたセミナー・実習等を実施 今年度は農業関連の幅広いセミナーを中心にマーケティングやAI等の計12件の講習会を実施

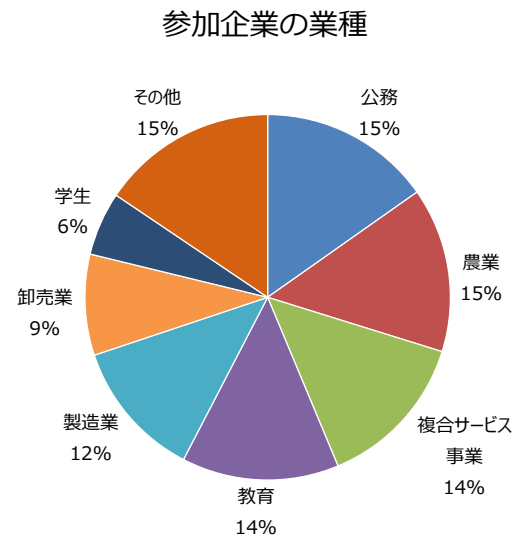
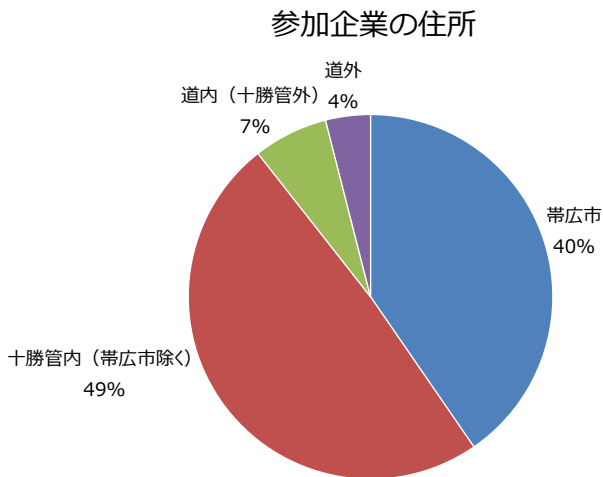
2. 事業実績

コース・講習名	実施期間	実施時間	受講料	募集定員	受講者数	内社会人		修了者数	内社会人	
						内学生			内学生	
食品安全管理コース										
食品有害微生物講習（初級）	R8.2.4～ R8.2.6	7時間×3日	20,000円	10名	7名	7名	-	7名	7名	-
農業生産者コース										
GAPセミナー 第1回 「GAP 概論」	R8.1.19	3時間	無料	30名	20名 (9名)*	20名	-	-	-	-
GAPセミナー 第2回 「総合的病害虫管理（IPM）」	R8.1.23	4.5時間	5,000円	30名	7名	7名	-	7名	7名	-
GAPセミナー 第3回 「HACCP 構築手法」	R8.1.24～ R8.1.25	7.5時間×2日	20,000円	10名	4名 (4名)*	4名	-	2名 (2名)*	2名	-
ドローン活用コース										
農業ドローン活用セミナー	R7.9.10～ R7.9.12	5時間×3日	50,000円	10名	4名	3名 1名	-	4名	3名 1名	-
特別講習										
マーケティング	R7.9.24 R7.10.1	3時間×2講	無料	30名	13名	12名 1名	-	-	-	-
企業戦略	R7.10.22 R7.10.29	3時間×2講	無料	30名	20名 (7名)*	19名 1名	-	-	-	-
総合的病害虫管理フィールド ワーク	R7.7.23	1.5時間	無料	30名	15名	15名	-	-	-	-
十勝の広さに挑む無人防除 システムの開発について	R7.8.4	1.5時間	無料	30名	32名	29名 3名	-	-	-	-
十勝第5の作物の可能性に ついて	R7.8.19	1.5時間	無料	30名	40名	37名 3名	-	-	-	-
地域未利用資源を用いた肉用牛 の高付加価値化	R7.8.26	1.5時間	無料	30名	19名	18名 1名	-	-	-	-
気候変動による農業経営への 影響と課題	R7.11.11	1.5時間	無料	30名	43名	40名 3名	-	-	-	-
北海道内の事象事例から見た 「本当に効果がある」農作業安 全対策	R7.11.19	1.5時間	無料	30名	29名	26名 3名	-	-	-	-
HACCP 導入・管理での ハード面への活用事例	R7.12.5	1.5時間	無料	30名	9名	8名 1名	-	-	-	-
6次産業化の展開と持続可能な 農業経営	R7.12.18	1.5時間	無料	30名	7名	7名	-	-	-	-
ビジネスシーンでの RESAS の 活用	R8.2.6	2時間	無料	50名	15名 (8名)*	15名	-	-	-	-
AI と DX セミナー	R8.2.16	3時間	無料	40名	18名 (11名)*	18名	-	-	-	-
合計					302名	285名 17名	-	20名	19名 1名	-

*（ ）内の人数は農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラムからの受講者数

3. 講習の分析

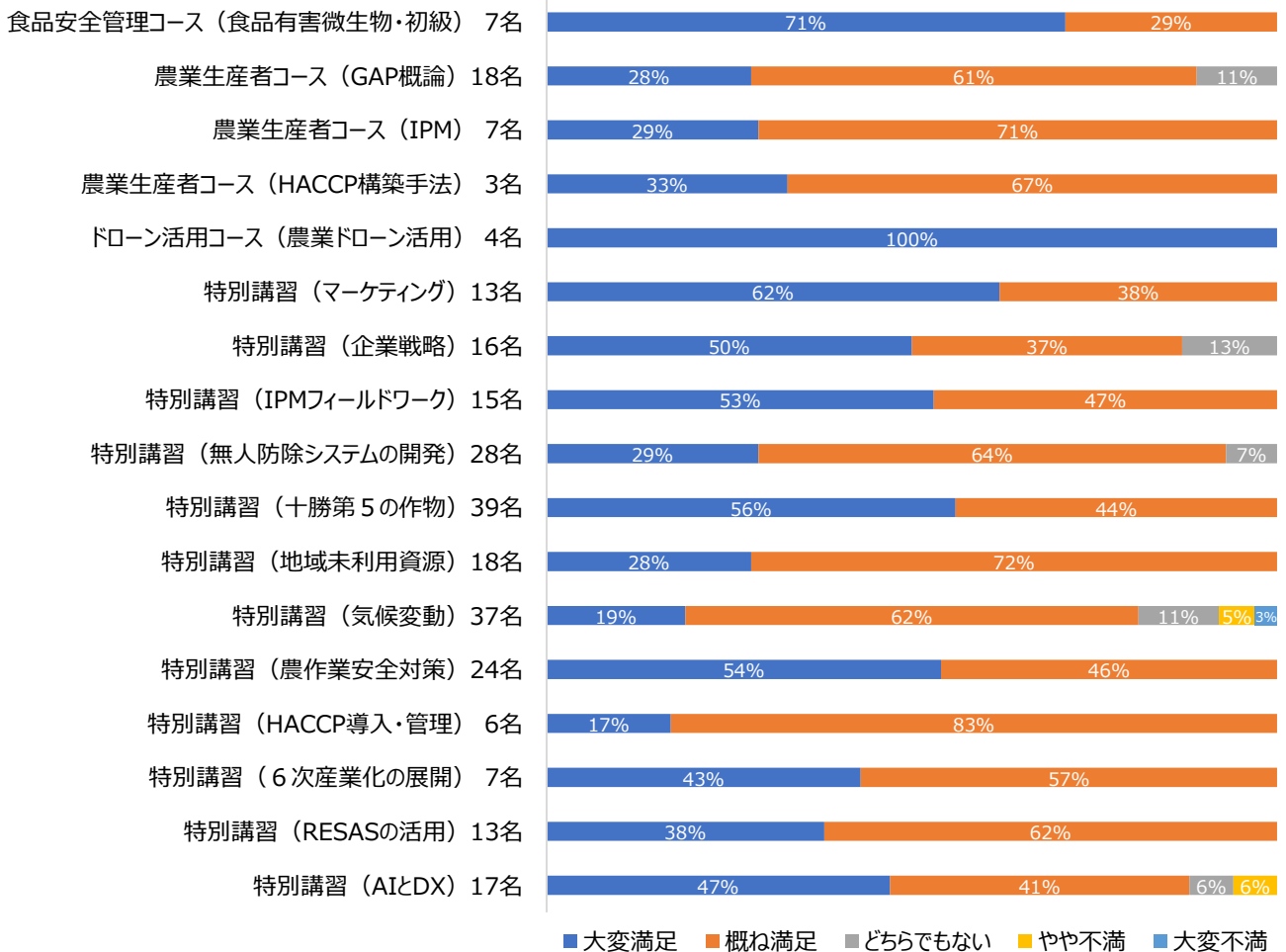
・受講参加企業：91



その他：学術研究、専門・技術サービス、無職（4%）
医療・福祉（3%）、金融業（2%）
情報通信業、電気業、飲食サービス業、サービス業（1%）

* 延べ人数で算出

・受講満足度（回答者数：コース名に併記）



資料 1. 修了生の活動状況（新聞記事より一部抜粋）

<事例 1>

種を育てる研究所（タネラボ） 代表 日向 優 氏 日向 美紀枝 氏（令和 1・2 年度修了生）

『 陸別のタネラボがハンドクリーム商品化 石橋建設が開発資金を協力 』

陸別町内で育てた薬用植物やハーブが原料のハンドクリームを発売した。町内の石橋建設が開発資金やモニター試験を協力して商品化。道産のエゾシカ脂を採用し、軍手を着用して働くことの多い林業や農業、建設業の人でもベタベタ感が気にならず使えるという。

北海道新聞 令和 7 年 6 月 6 日（金）掲載・十勝毎日新聞 令和 7 年 6 月 7 日（土）掲載

<事例 2>

高野農場 高野 竜二 氏（平成 29 年度修了生）

『 高野農場が通年営業のポップコーン専門店 「育てたものを自分の手で」 』

芽室町内にポップコーン専門店「THE POPCORN SHOP」が 12 月にオープンした。同農場で栽培する爆裂種のトウモロコシを使用。十勝産の食材にこだわった 6 種類のフレーバーを提供する。

十勝毎日新聞 令和 8 年 1 月 20 日（火）掲載

<事例 3>

一般社団法人北海道プロデュース 代表理事 中村 真也 氏（平成 29 年度修了生）

『 池田町の未来像は？ ワークショップでビジョンマップ策定 』

池田町は、町の将来像を可視化して郷土愛の醸成や魅力を発信し、関係人口の創出につなげる「ビジョンマップ」の作成を開始した。中村氏が講師を務め、2 月にビジョンマップの完成を目指す。

十勝毎日新聞 令和 7 年 9 月 30 日（火）掲載

<事例 4>

株式会社明治 十勝チーズ研究センター 主任研究員 高石 真樹 氏（令和 4 年度修了生）

『 自然採取のアオカビでブルーチーズを開発 とかち財団と明治 』

とかち財団と明治は、自然環境（三国峠やトムラウシ山など）から採取した地域固有のアオカビを用いたブルーチーズの試作に成功した。明治は数年をかけて安全性の評価を行い、商品化を目指している。

高石氏は「試作が成功し本当に驚いた。こうした研究を通じ、地域に少しでも恩返しをしたい」と語る。

十勝毎日新聞 令和 7 年 9 月 12 日（金）掲載

<事例 5>

株式会社 New Pan Hokkaido 代表取締役 長尾 裕樹 氏（令和 5 年度修了生）

『 十勝港からコメを初輸出 コンテナ船定期航路活用 農水省補助事業で 』

十勝港で、コンテナ船の定期航路によるコメの輸出が始まった。十勝港は道内初の「産直港湾」認定を受けた。農水省の輸出物流構築対策事業の貨物調査・実証事業の一つで、今後は乳製品や肉類等の輸出も、実証事業の中で進める見通し。海外へ輸出事業を行う同社が、コメの輸出に協力した。

十勝毎日新聞 令和 7 年 10 月 1 日 (水) 掲載

<事例 6>

HACCP Management Office 代表 堀江 浩明 氏 (平成 24~26 年度・令和 5 年度修了生)

『 台湾県政府訪問団、帯広の食肉加工 HACCP 工場見学 』

台湾彰化県政府関係者による訪問団が、市内にある北海道 HACCP 認証を受けたガロードグループの食肉加工場を視察した。工場の HACCP 取得に尽力した堀江氏が講師を務め、認証後は最高評価を維持していることや、規模に関係なく評価につながると説明した。

十勝毎日新聞 令和 7 年 11 月 12 日 (水) 掲載

<事例 7>

鈴木牧場 鈴木 なつき 氏 (令和 4 年度修了生)

『 広尾の味覚詰め込んだ「KOM BEEF」完成 町民が試食 』

広尾町の 1 次産業の発信に取り組む「ピロロツーリズム推進協議会」が取り組んできた、広尾産のコンビーフが完成した。原材料は、町内産の牛肉や昆布加工食品、鈴木牧場で生産される天然塩「十勝の塩」。試食会は好評で、商品化を目指している。

十勝毎日新聞 令和 7 年 12 月 14 日 (日) 掲載

<事例 8>

株式会社 minori 代表取締役 大久保 将太 氏 (令和 7 年度修了生)

『 子連れでも食事しやすいキッズルーム開設 清水のミノリピザがリニューアル 』

清水町内にあるピザ店「minori pizza」は、店舗敷地内に、キッズスペースとイートイン、ドッグランを新たに整備しリニューアルオープンした。整備には、クラウドファンディングで募った支援金も活用。

十勝毎日新聞 令和 7 年 10 月 10 日 (金) 掲載

<事例 9>

合同会社ほとり 代表社員 儀間 芙紗子 氏 (令和 1 年度修了生)

『 オンネトー野営場休憩舎、「ほとり」が運営 「楽しめる環境を」 』

足寄町内のオンネトー湖畔に位置する野営場休憩舎の運営者に、合同会社ほとりが決まった。十勝管内在住の女性 3 人が設立した同社は、6 月のオープンに向け準備を進めている。

北海道新聞 令和 7 年 4 月 15 日 (火) 掲載

資料2. 会議開催状況

運営委員会

第1回 令和7年7月4日（金）（書面会議）

1. 議事

第1号議案：令和7年度共同事業計画書の変更について

第2回 令和8年3月31日（火）（書面会議）

1. 議事

第1号議案：令和7年度事業費の精算について

第2号議案：令和7年度事業報告（案）について

第3号議案：令和8年度共同事業計画書（案）について

事務局会議

第1回 令和7年5月23日（金）

議題：1. 令和6年度事業報告書について

2. 令和7年度年間予定について

第2回 令和7年6月5日（木）（持ち回り会議）

議題：1. 特別講習「農業関連セミナー第1弾」の実施について

第3回 令和7年6月23日（月）（持ち回り会議）

議題：1. 令和7年度共同事業計画書の変更について

2. ドローン活用コース「農業ドローン活用セミナー」の実施について

第4回 令和7年8月1日（金）（持ち回り会議）

議題：1. 特別講習「マーケティングと企業戦略」の実施について

2. 特別講習「農業関連セミナー第2弾」の実施について

第5回 令和7年10月14日（火）

議題：1. 特別講習「農業関連セミナー第3弾」の実施について

2. 令和8年度事業実施案について

第6回 令和7年11月28日（金）（持ち回り会議）

議題：1. 農業生産者コース「GAPセミナー」の実施について

2. 食品安全管理コース「食品有害微生物講習（初級）」の実施について

3. 特別講習「ビジネスシーンでのRESASの活用」の実施について

4. 特別講習「AI と DX セミナー」の実施について
5. 令和 8 年度事業計画の一部変更について

第 7 回 令和 8 年 3 月 18 日 (水)

- 議題： 1. 令和 7 年度事業報告書 (概要版) について
2. 令和 8 年度共同事業計画書について